



後期生徒会本部役員選挙が行われました

11月4日(木)、後期生徒会本部役員選挙が行われました。今回の選挙は、10月1日(金)にリモートで行われた臨時生徒総会において変更された選挙規約のもと実施されました。規約変更の概要及びねらいは、以下の2点です。◆令和4年度の学校統合を見据え、本部役員の定数を現在の8名から6名に減ずること(綾上中学校は、6名から4名に減)。◆統合後は綾南・綾上両中学校の本部役員を併せた総勢10名が、協力し合って綾川中学校の生徒会活動の中核を担っていくこと。



【立会演説会後の投票の様子】

「人は人に憧れて育つ。人は人に憧れられて育つ。」異学年の子どもたちの交流活動は、互いに寄与し合っその成長を大きく促進させます。学校という場は、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、そして部活動等、異学年交流の場の宝庫であり、社会性を身に付ける格好の場ともなります。今年度は、コロナ禍の中ではありましたが、さまざまな異学年交流が行われ、その度に子どもたちの心は大きく成長を遂げていると感じています。

特に、閉校記念行事として開催した体育祭、校内音楽祭の2大行事の中核となった生徒会本部役員の熱いメッセージや企画・運営等に携わる活躍ぶりには目を見張るものがありました。その姿に憧れた後輩たちの中から、今回の選挙に総勢16名もの立候補がありました。立会演説会では、綾南中学校を締めくり、綾川中学校に新たな風を送り込もうとする、力強く、そして、それぞれの思いが感じられる演説を聞くことができました。

新本部役員には、綾南中学校の総決算と綾川中学校の未来を託すとともに、今回の立候補者をはじめ全校生徒には、引き続き、生徒会活動への積極的な参画を強く期待しているところです。

「ときめきにあふれ やすらぎのにじむ学校づくりの集大成」を牽引する生徒会活動。新体制のもと、心新たに全校生徒が一丸となり、よりよい校風づくりに寄与することを心より願っています。

【参考】 中学校学習指導要領(文部科学省 平成29年3月告示)より抜粋
〔生徒会活動〕

1 目標

異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 ※アンダーラインは筆者



【立候補した16名の立候補者 選挙広報ポスターより】 ※写真は加工しています。